

三 身体障害者障害程度等級表(身体障害者福祉法施行規則第5条第3項別表第5号)

(太実線より上は旅客運賃割引の第1種、下は第2種を表す。)

級別	視覚障害		聴覚又は平衡機能の障害		音声機能、言語機能又はそしやく機能の障害		肢体不自由			心臓、じん臓若しくは呼吸器又はぼうこう若しくは直腸若しくは小腸若しくはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害若しくは肝臓機能障害						級別			
	視覚障害		聴覚障害		平衡機能障害		上肢	下肢	体幹	乳児期以前の非進行性の脳変変による運動機能障害		心臓機能障害	じん臓機能障害	呼吸器機能障害	ぼうこう又は直腸の機能障害		小腸機能障害	ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害	肝臓機能障害
	視覚障害		聴覚障害		平衡機能障害		上肢機能	下肢機能	体幹機能	上肢機能	移動機能	心臓機能障害	じん臓機能障害	呼吸器機能障害	ぼうこう又は直腸の機能障害		小腸機能障害	ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害	肝臓機能障害
1級	視力の良い方の眼の視力(万国式視力表によって測ったものをいい、屈折異常のある者については、矯正視力として測ったものをいう。以下同じ。)が0.01以下のもの						① 両上肢の機能を全廃したものの ② 両上肢を手関節以上で欠くもの	① 両下肢の機能を全廃したものの ② 両下肢を大腿の2分の1以上で欠くもの	体幹の機能障害により歩行が困難なものであるもの	不随意運動・失調等により日常生活活動がほとんど不可能なものであるもの	不随意運動・失調等により歩行が困難なものであるもの	心臓の機能の障害により日常生活活動が著しく制限されるもの	じん臓の機能の障害により日常生活活動が著しく制限されるもの	呼吸器の機能の障害により日常生活活動が著しく制限されるもの	ぼうこう又は直腸の機能の障害により日常生活活動が著しく制限されるもの	小腸の機能の障害により日常生活活動が著しく制限されるもの	ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害がほとんど不可能なものであるもの	肝臓の機能の障害により日常生活活動が著しく制限されるもの	1級
2級	① 視力の良い方の眼の視力が0.02以下0.03以下のもの ② 視力の良い方の眼の視力が0.04かつ他方の眼の視力が手動弁以下のもの ③ 周辺視野角度(1/4視標による。以下同じ。)の総和が左眼それぞれ80度以下かつ両眼中心視野角度(1/2視標による。以下同じ。)が28度以下のもの ④ 両眼開放視認点数が70点以下かつ両眼中心視野視認点数が20点以下のもの		両耳の聴力レベルがそれぞれ100dB以上のもの(両耳全ろう)				① 両上肢の機能を著しい障害 ② 両上肢のすべての指を欠くもの ③ 一上肢を上腕の2分の1以上で欠くもの ④ 一上肢の機能を全廃したものの	① 両下肢の機能を著しい障害 ② 両下肢を下腿の2分の1以上で欠くもの	① 体幹の機能障害により起立位又は起立位を保つことが困難なものであるもの ② 体幹の機能障害により立ち上がることが困難なものであるもの	不随意運動・失調等により日常生活活動が著しく制限されるもの	不随意運動・失調等により歩行が著しく制限されるもの						ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害が著しく制限されるもの	肝臓の機能の障害により日常生活活動が著しく制限されるもの	2級
3級	① 視力の良い方の眼の視力が0.04以上0.07以下のもの(2級の2に該当するものを除く。) ② 視力の良い方の眼の視力が0.08かつ他方の眼の視力が手動弁以下のもの ③ 周辺視野角度の総和が左眼それぞれ80度以下かつ両眼中心視野角度が56度以下のもの ④ 両眼開放視認点数が70点以下かつ両眼中心視野視認点数が40点以下のもの		両耳の聴力レベルが90dB以上のもの(耳介に接しなければ大声を理解し得ないもの)		平衡機能の著しい障害 音声機能、言語機能又はそしやく機能の喪失		① 両上肢のおや指及びひとさし指を欠くもの ② 両上肢のおや指及びひとさし指の機能を全廃したものの ③ 一上肢の機能を著しい障害 ④ 一上肢のすべての指を欠くもの ⑤ 一上肢の機能を全廃したものの	① 両下肢をショパー関節以上で欠くもの ② 一下肢を大腿の2分の1以上で欠くもの ③ 一下肢の機能を全廃したものの	体幹の機能障害により歩行が困難なものであるもの	不随意運動・失調等により日常生活活動が著しく制限されるもの	不随意運動・失調等により歩行が著しく制限されるもの	心臓の機能の障害により日常生活活動が著しく制限されるもの	じん臓の機能の障害により日常生活活動が著しく制限されるもの	呼吸器の機能の障害により日常生活活動が著しく制限されるもの	ぼうこう又は直腸の機能の障害により日常生活活動が著しく制限されるもの	小腸の機能の障害により日常生活活動が著しく制限されるもの	ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害が著しく制限されるものを除く。	肝臓の機能の障害により日常生活活動が著しく制限されるものを(社会での日常生活活動が著しく制限されるものを除く。)	3級
4級	① 視力の良い方の眼の視力が0.08以上0.1以下のもの(3級の2に該当するものを除く。) ② 周辺視野角度の総和が左眼それぞれ80度以下のもの ③ 両眼開放視認点数が70点以下のもの		① 両耳の聴力レベルが80dB以上のもの(耳介に接しなければ話声を理解し得ないもの) ② 両耳による普通和声の最良の語音明瞭度が50%以下のもの		音声機能、言語機能又はそしやく機能の著しい障害		① 両上肢のおや指以上の機能を欠くもの ② 一上肢の機能を全廃したものの ③ 一上肢の肩関節、肘関節又は手関節のうち、いずれか一関節の機能を全廃したものの ④ 一上肢のおや指及びひとさし指を欠くもの ⑤ 一上肢のおや指及びひとさし指の機能を全廃したものの ⑥ おや指又はひとさし指を含めて一上肢の二指を欠くもの ⑦ おや指又はひとさし指を含めて一上肢の二指の機能を全廃したものの ⑧ おや指又はひとさし指を含めて一上肢の四指の機能を著しい障害	① 両下肢のすべての指を欠くもの ② 両下肢のすべての指の機能を全廃したものの ③ 一下肢を下腿の2分の1以上で欠くもの ④ 一下肢の股関節又は膝関節の機能を全廃したものの ⑤ 一下肢が健側に比して10cm以上又は健側の長さの10分の1以上短いもの	不随意運動・失調等による上肢の機能障害により社会での日常生活活動が著しく制限されるもの	不随意運動・失調等により社会での日常生活活動が著しく制限されるもの	心臓の機能の障害により日常生活活動が著しく制限されるもの	じん臓の機能の障害により日常生活活動が著しく制限されるもの	呼吸器の機能の障害により日常生活活動が著しく制限されるもの	ぼうこう又は直腸の機能の障害により日常生活活動が著しく制限されるもの	小腸の機能の障害により日常生活活動が著しく制限されるもの	ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害が著しく制限されるもの	肝臓の機能の障害により社会での日常生活活動が著しく制限されるもの	4級	
5級	① 視力の良い方の眼の視力が0.2かつ他方の眼の視力が0.02以下のもの ② 両眼による視野の2分の1以上が欠けているもの ③ 両眼中心視野角度が56度以下のもの ④ 両眼開放視認点数が70点を越えかつ100点以下のもの ⑤ 両眼中心視野視認点数が40点以下のもの		平衡機能の著しい障害				① 両上肢のおや指の機能を著しい障害 ② 一上肢の肩関節、肘関節又は手関節のうち、いずれか一関節の機能を著しい障害 ③ 一上肢のおや指を欠くもの ④ 一上肢のおや指の機能を全廃したものの ⑤ 一上肢のおや指及びひとさし指の機能を著しい障害 ⑥ おや指又はひとさし指を含めて一上肢の二指の機能を著しい障害	① 一下肢の股関節又は膝関節の機能を著しい障害 ② 一下肢の定関節の機能を全廃したものの ③ 一下肢が健側に比して5cm以上又は健側に比して15分の1以上短いもの	体幹の機能の著しい障害	不随意運動・失調等による上肢の機能障害により社会での日常生活活動に支障のあるもの	不随意運動・失調等により社会での日常生活活動に支障のあるもの								5級
6級	視力の良い方の眼の視力が0.3以上0.6以下かつ他方の眼の視力が0.02以下のもの		① 両耳の聴力レベルが70dB以上のもの(40cm以上の距離で発声された会話を理解し得ないもの) ② 一耳の聴力レベルが90dB以上、他側耳の聴力レベルが50dB以上のもの				① 一上肢のおや指の機能を著しい障害 ② ひとさし指を含めて一上肢の二指を欠くもの ③ ひとさし指を含めて一上肢の二指の機能を全廃したものの	① 一下肢をリスフラン関節以上で欠くもの ② 一下肢の定関節の機能を著しい障害		不随意運動・失調等により上肢の機能の劣るもの	不随意運動・失調等により上肢の機能の劣るもの								6級
7級							① 一上肢の機能の軽度の障害 ② 一上肢の肩関節、肘関節又は手関節のうち、いずれか一関節の機能の軽度の障害 ③ 一上肢の手指の機能の軽度の障害 ④ ひとさし指を含めて一上肢の二指の機能を著しい障害 ⑤ 一上肢のなか指、くすり指及び小指を欠くもの ⑥ 一上肢のなか指、くすり指及び小指の機能を全廃したものの	① 両下肢のすべての指の機能を著しい障害 ② 一下肢の機能の軽度の障害 ③ 一下肢の股関節、膝関節又は足関節のうち、いずれか一関節の機能の軽度の障害 ④ 一下肢のすべての指を欠くもの ⑤ 一下肢のすべての指の機能を全廃したものの ⑥ 一下肢が健側に比して3cm以上又は健側の長さの20分の1以上短いもの	上肢に不随意運動・失調等を有するもの	下肢に不随意運動・失調等を有するもの									7級
備考	① 同一の等級について二つの重複する障害がある場合は、1級上の級とする。ただし、二つの重複する障害が特に表中に指定されているものは、該当等級とする。 ② 肢体不自由については、7級に該当する障害が2以上重複する場合は、6級とする。 ③ 異なる等級について2以上の重複がある場合については、障害の程度を勘案して当該等級より上の級とすることができる。 ④ 「指を欠くもの」とは、おや指については指節関節、その他の指については、第1指骨間関節以上を欠くものとする。										⑤ 「指の機能障害」とは、中指指節関節以下の障害をいい、おや指については、対抗運動障害をも含むものとする。 ⑥ 上肢又は下肢欠損の節端の長さは、実用長(上腕においては腋窩より、大腿においては座骨結節の高さより計測したもの)をもって計測したものをいう。 ⑦ 下肢の長さは、全脚骨より内なるぶし下端までを計測したものをいう。						備考		